

富山県DX・働き方改革推進計画

～人口減少社会へ対応するために～

令和6年11月
富 山 県

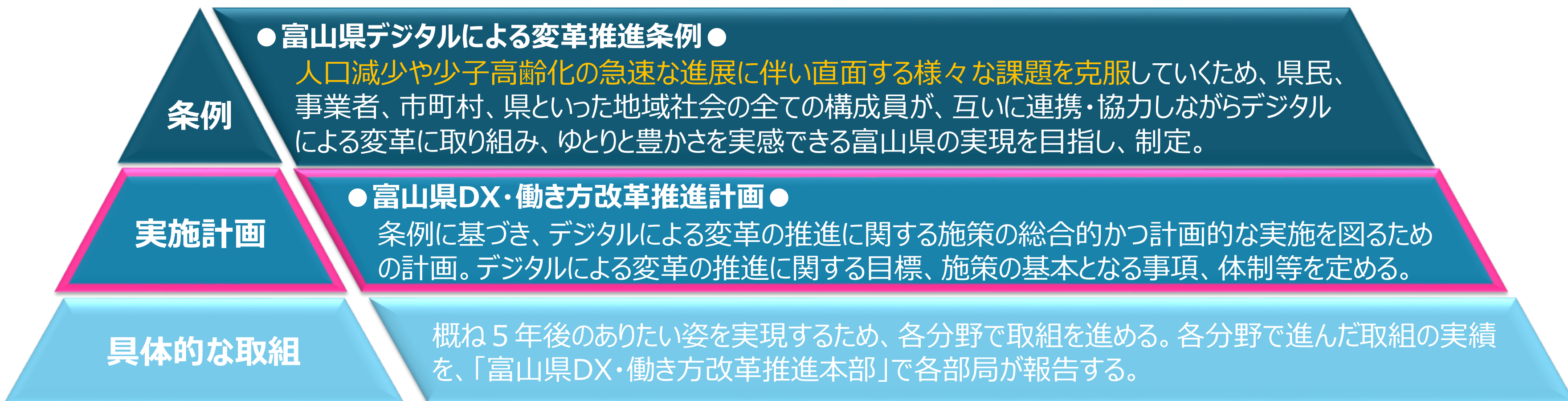
目 次

ページ

1. 位置付け	3
2. 期間	3
3. 目標	4
4. 推進に当たっての視点	5
5. 計画の構造	6
6. 概ね5年後のありたい姿と取組の方向性	7
7. 推進体制	26

1 位置付け

◆ 富山県デジタルによる変革推進条例第8条第1項に基づく「実施計画」。



※官民データ活用推進基本法第9条第1項に規定する「都道府県官民データ活用推進計画」としても位置付け

2 期間

- ◆ 令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)までの5年間。
- ◆ 国の動向や社会経済情勢の変化、技術の進展等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを行います。

3 目 標

人口減少や少子高齢化の急速な進展により、社会を支える担い手不足に伴うサービスの質や産業競争力、地域社会の機能の低下などを招くことが懸念されています。

このような中で、直面する課題を克服していくためには、デジタルによる変革が不可欠です。

本計画では、様々な分野における将来のありたい姿を描き、共有し、これに向けて地域社会の全ての構成員が連携・協力し、デジタルによる変革に取り組むことで、ゆとりと豊かさを実感できる富山県を実現することを目標とします。

4 推進に当たっての視点

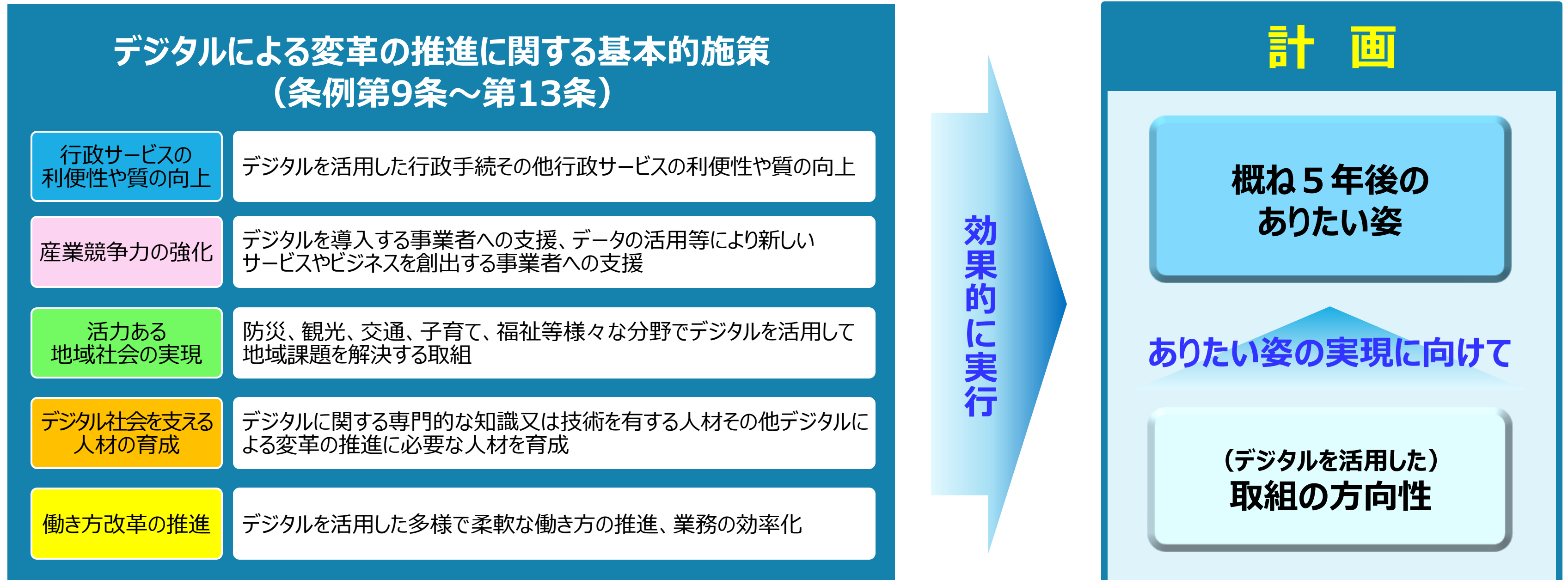
デジタルによる変革は以下の**3つの視点で推進**します（条例の基本理念）。

デジタルを適正かつ効果的に活用することにより、

1	人口減少、少子高齢化の進展その他本県が直面する様々な課題を克服する
2	産業競争力の強化・活力ある地域社会を実現する
3	全ての県民がゆとりと豊かさを実感できる生活を実現する

5 計画の構造

デジタルによる変革の推進に関する基本的施策を効果的に実行するため、本計画では、関連する基本的施策ごとに「**概ね5年後のありたい姿**」を設定し、その実現に向けた「**取組の方向性**」を定めます。



6 概ね5年後のありたい姿 と 取組の方向性



概ね5年後のありたい姿 一覧

1 行政サービスの 利便性や質の向上

- ① 行政手続や行政サービスのデジタル完結などにより、県民や事業者の利便性が向上している。
- ② デジタルに不慣れな方の不安やためらいが払拭されている。

2 産業競争力の強化

- ① 商品・サービスの高付加価値化や生産性の向上が図られ、県内産業の競争力が維持・強化されている。
- ② 建設業や農林水産業の省力化や生産性の向上が図られ、魅力の向上や労働環境の改善により、必要な担い手が確保されている。
- ③ 観光産業において、戦略的な観光サービスが提供され、持続的な観光地づくりが進んでいる。

3 活力ある地域社会の実現

- ① 住み慣れた地域で安心して質の高い医療・保健・福祉サービスを受ける機会が維持されている。
- ② 家庭や地域における子どもの成長段階に応じた子育て環境づくりが進んでいる。
- ③ 公共インフラの維持管理などの効率化が進み、安全性が維持・向上している。
- ④ 災害時の避難や行政の災害救助が円滑に行われ、県民の安心・安全が確保されている。
- ⑤ 犯罪や交通事故が減少し、県民がより安心な暮らしを実感している。
- ⑥ 出かけたくなる、乗りたくなる地域交通ネットワークが実現し、県民の利便性が向上している。
- ⑦ 地域社会の機能が維持・活性化され、県民の安心して生き生きとした暮らしが維持されている。

4 デジタル社会を支える 人材の育成

- ① 県民一人ひとりのDXに関するリテラシーが向上し、多くの人にとってデジタルの利用が当たり前となっている。
- ② 教員や児童・生徒のデジタルを利用する力が向上し、ICTが効果的に活用されている。
- ③ デジタルやデータサイエンスに関する知識やスキルを持ち、地域や産業のDXを実践できる人材が育成されている。
- ④ 県・市町村の全職員がデジタルスキルのレベルアップを図りながら、DXを積極的に推進できる組織になっている。

5 働き方改革の推進

- ① 柔軟な働き方や業務の効率化・生産性向上により、働きがいのある職場、ゆとりある暮らしが実現している。

1 行政サービスの利便性や質の向上



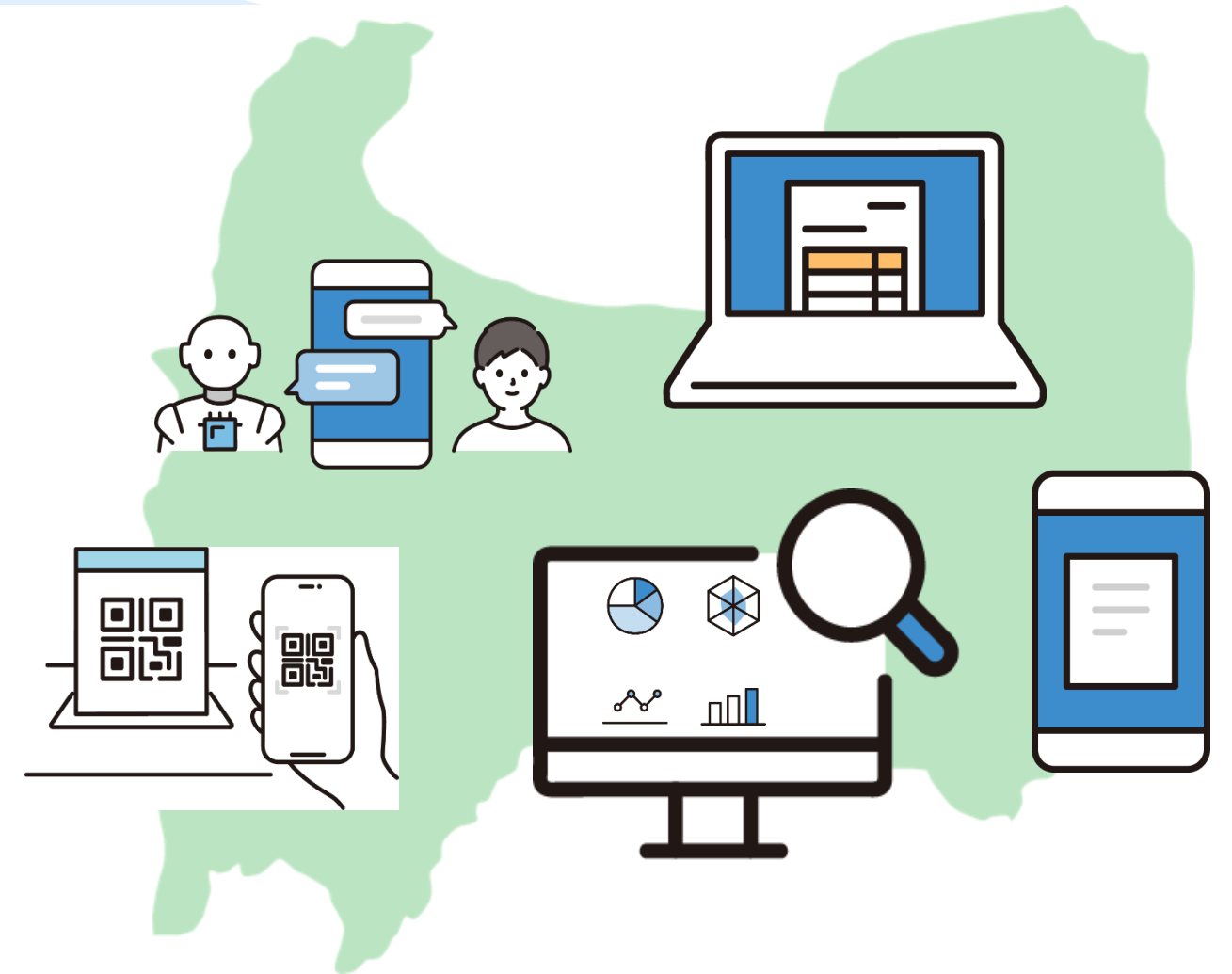
概ね5年後のありたい姿

- ① 行政手続や行政サービスのデジタル完結などにより、県民や事業者の利便性が向上している。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- ・県と市町村における行政サービスの提供に係る手続や決済等の効率化
- ・県と市町村の行政データのオープンデータ化推進
- ・サービスの連携等による県民生活の利便性向上



1 行政サービスの利便性や質の向上



概ね5年後のありたい姿

- ② デジタルに不慣れな方の不安やためらいが払拭されている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- デジタルデバイド対策の充実



2 産業競争力の強化

概ね5年後のありたい姿

- ① 商品・サービスの高付加価値化や生産性の向上が図られ、**県内産業**の競争力が維持・強化されている。

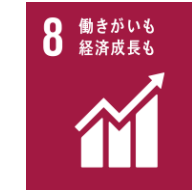
ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 個々の企業の課題に応じたデジタル化・DXの推進
- 先進的なデジタル技術等を活用した新規ビジネスの創出



2 産業競争力の強化



概ね5年後のありたい姿

- ② **建設業や農林水産業**の省力化や生産性の向上が図られ、魅力の向上や労働環境の改善により、必要な担い手が確保されている。

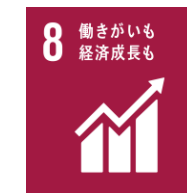
ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 建設現場の生産性向上と働き方改革の推進
- 農林水産業の生産性向上と働き方改革の推進



2 産業競争力の強化



概ね5年後のありたい姿

- ③ **観光産業**において、戦略的な観光サービスが提供され、持続的な観光地づくりが進んでいる。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 地域の魅力の分析や発信等によるターゲットに応じたプロモーションの展開



3 活力ある地域社会の実現



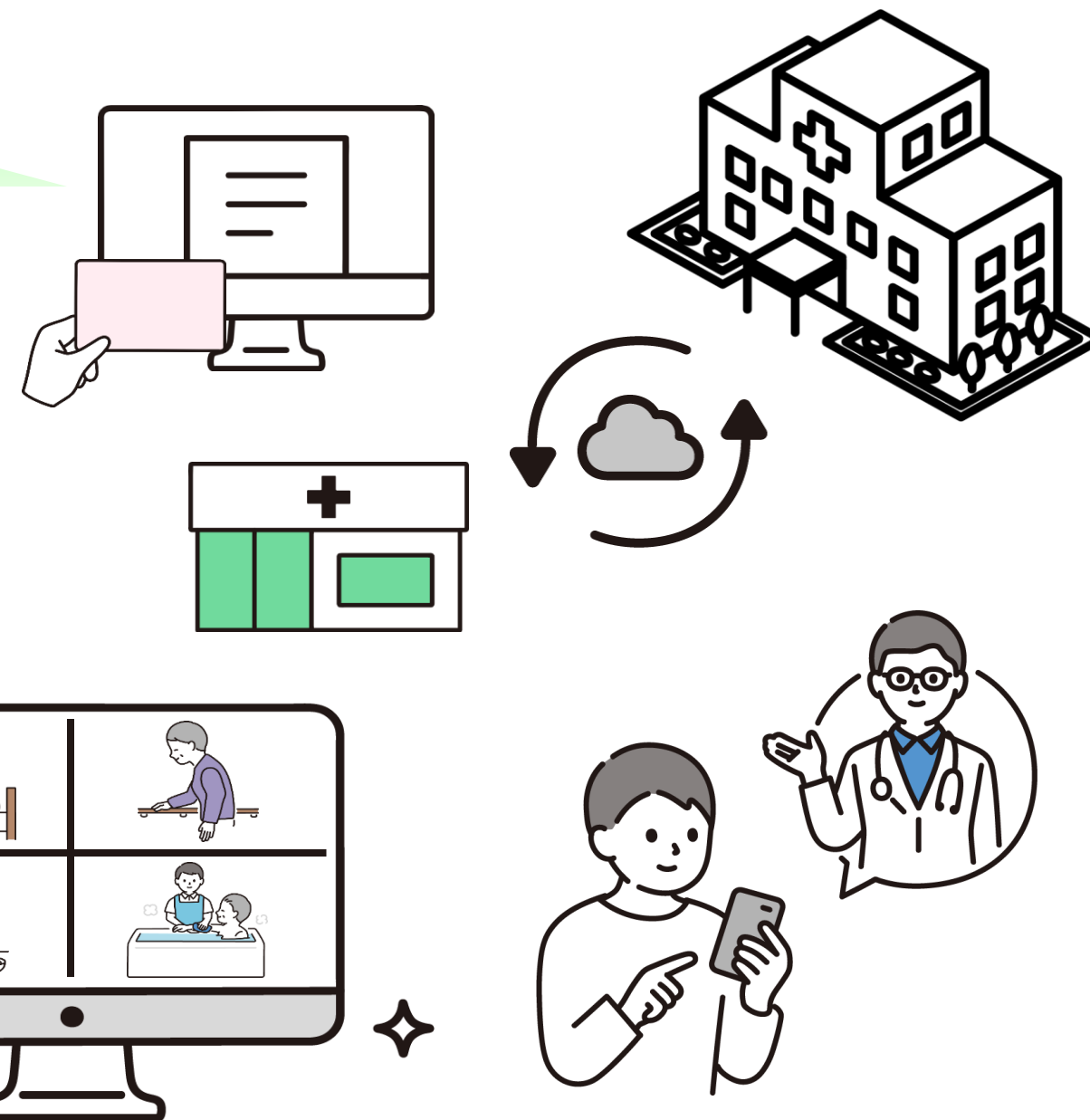
概ね5年後のありたい姿

- ① 住み慣れた地域で安心して質の高い医療・保健・福祉サービスを受ける機会が維持されている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- ・医療・保健分野におけるDXの推進による効率的で適切な受診機会の確保
- ・地域における医療サービスネットワークの強化
- ・介護現場や福祉施設等でのロボット・ICTの導入推進
- ・職員の負担軽減の推進



3 活力ある地域社会の実現

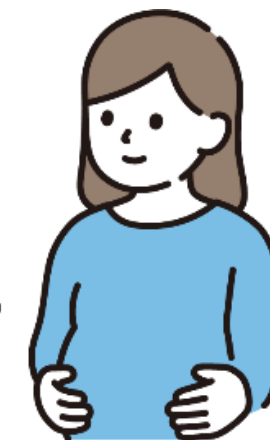
概ね5年後のありたい姿

- ② 家庭や地域における子どもの成長段階に応じた**子育て環境**づくりが進んでいる。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 子育て家庭等が必要とする情報やサービスを適宜・適切に届ける仕組みの構築



3 活力ある地域社会の実現

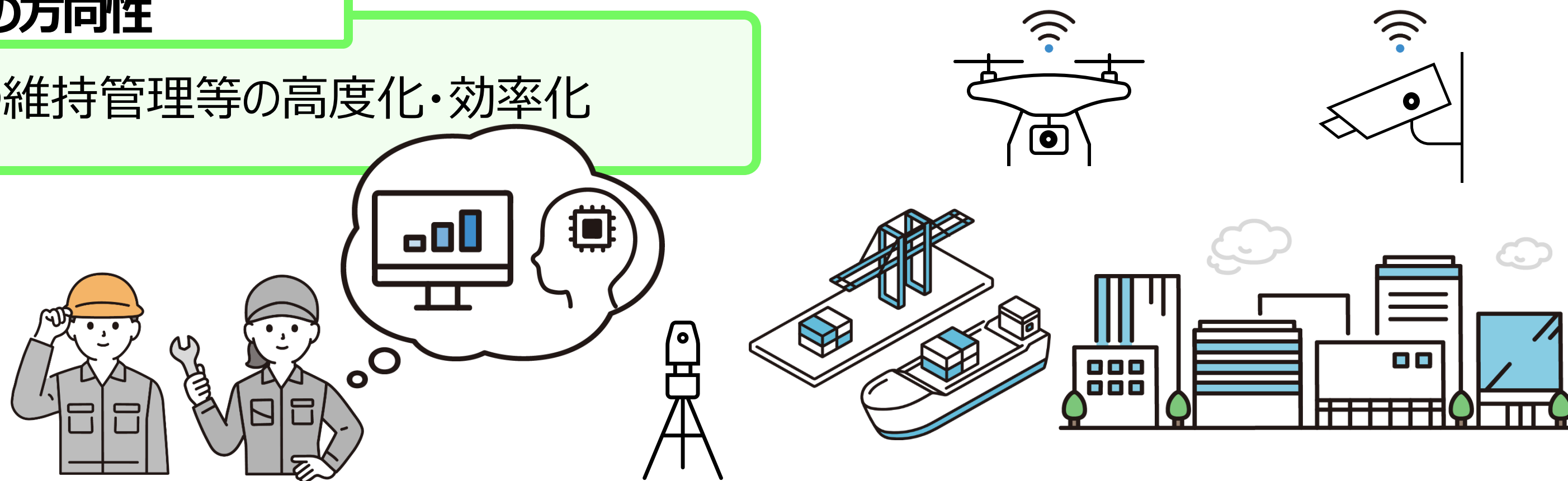
概ね5年後のありたい姿

- ③ 公共インフラの維持管理などの効率化が進み、安全性が維持・向上している。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 公共インフラの維持管理等の高度化・効率化



3 活力ある地域社会の実現

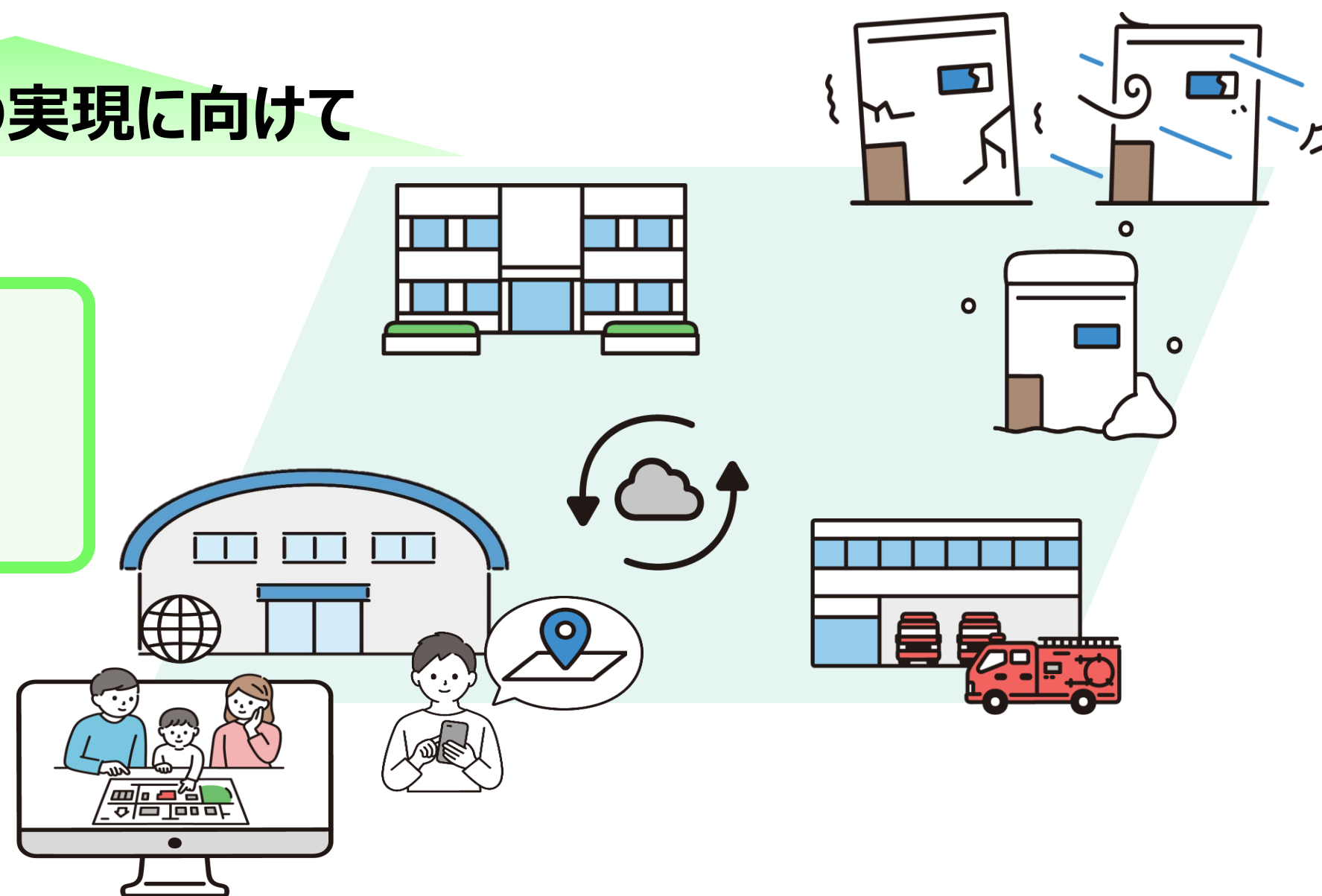
概ね5年後のありたい姿

- ④ 災害時の避難や行政の災害救助が円滑に行われ、県民の安心・安全が確保されている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 災害時のあらゆる場面において、デジタルの活用により対応を迅速化・効率化



3 活力ある地域社会の実現

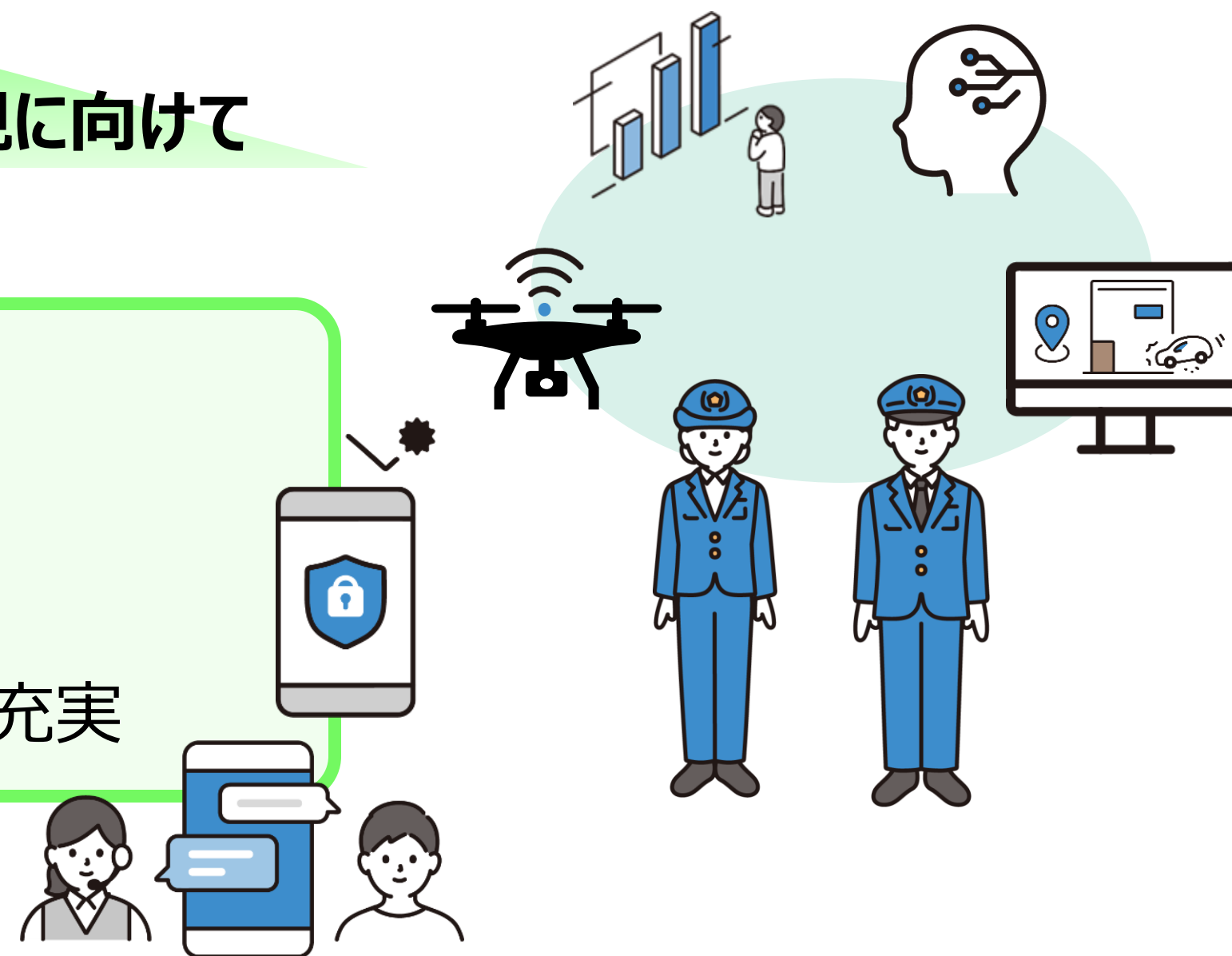
概ね5年後のありたい姿

- ⑤ 犯罪や交通事故が減少し、県民がより安心な暮らしを実感している。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- データやデジタルの活用による効果的・効率的な防犯・交通事故防止活動の促進
- 情報発信や相談対応等へのデジタル活用による効果的・効率的な防犯・交通安全・消費者教育の充実



3 活力ある地域社会の実現

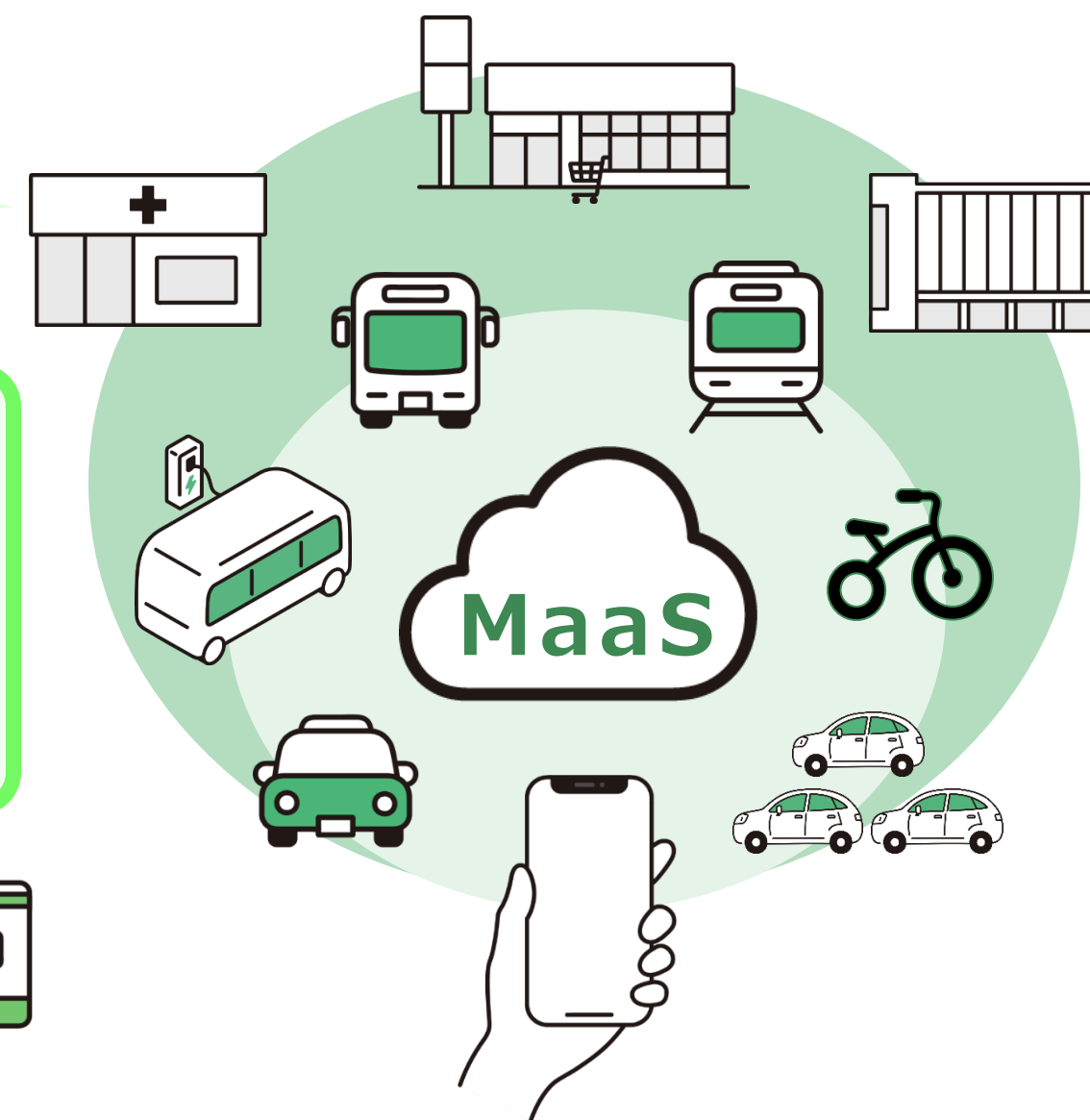
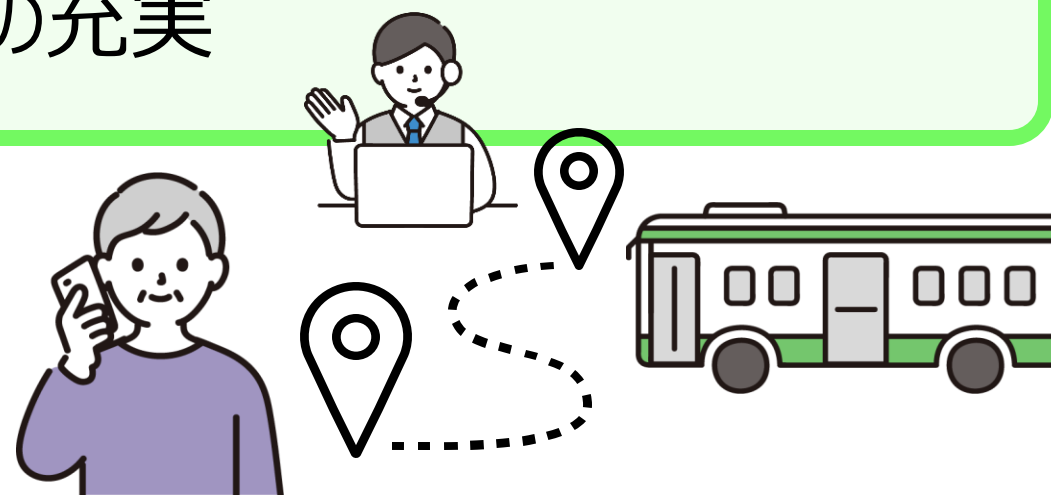
概ね5年後のありたい姿

- ⑥ 出かけたくなる、乗りたいくなる**地域交通ネットワーク**が実現し、県民の利便性が向上している。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 新たなサービスの提供による移動や交流の機会創出
- 地域の実情に応じた交通サービスの充実



3 活力ある地域社会の実現



概ね5年後のありたい姿

- ⑦ **地域社会**の機能が維持・活性化され、県民の安心して生き活きとした暮らしが維持されている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- ICTを活用した地域課題の解決に向けた取組の推進
- 文化芸術に触れる機会の充実やICTを活用した文化芸術活動の促進及び伝統文化継承の推進



4 デジタル社会を支える人材の育成



概ね5年後のありたい姿

- ① 県民一人ひとりのDXに関するリテラシーが向上し、多くの人にとってデジタルの利用が当たり前となっている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- データ利活用やプログラミング等の学習機会や学び直しの機会の充実



4 デジタル社会を支える人材の育成

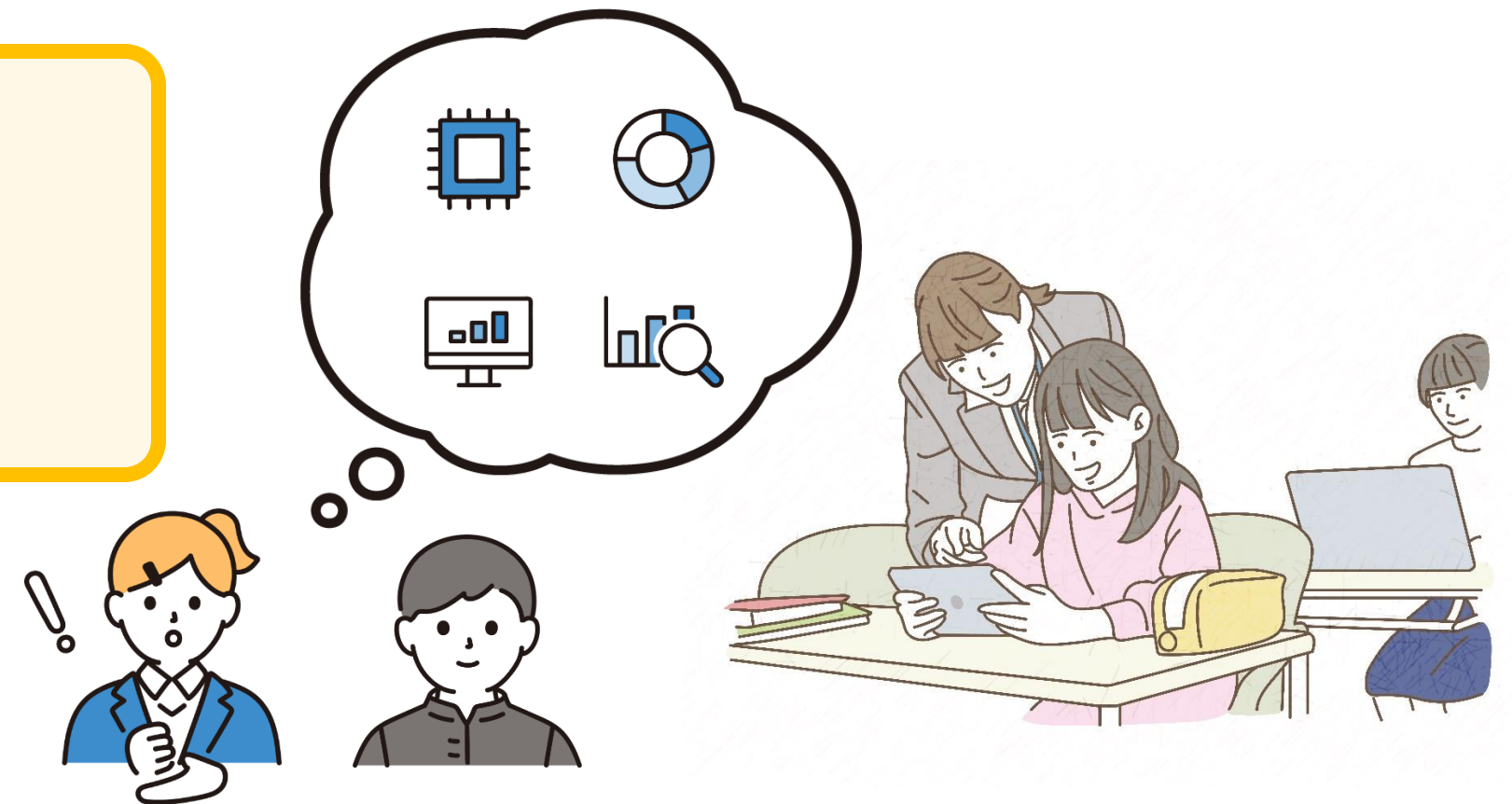
概ね5年後のありたい姿

- ② 教員や児童・生徒のデジタルを利用する力が向上し、ICTが効果的に活用されている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- ICTを活用した学校教育の充実
- ICTを活用した児童・生徒の資質・能力の育成



4 デジタル社会を支える人材の育成



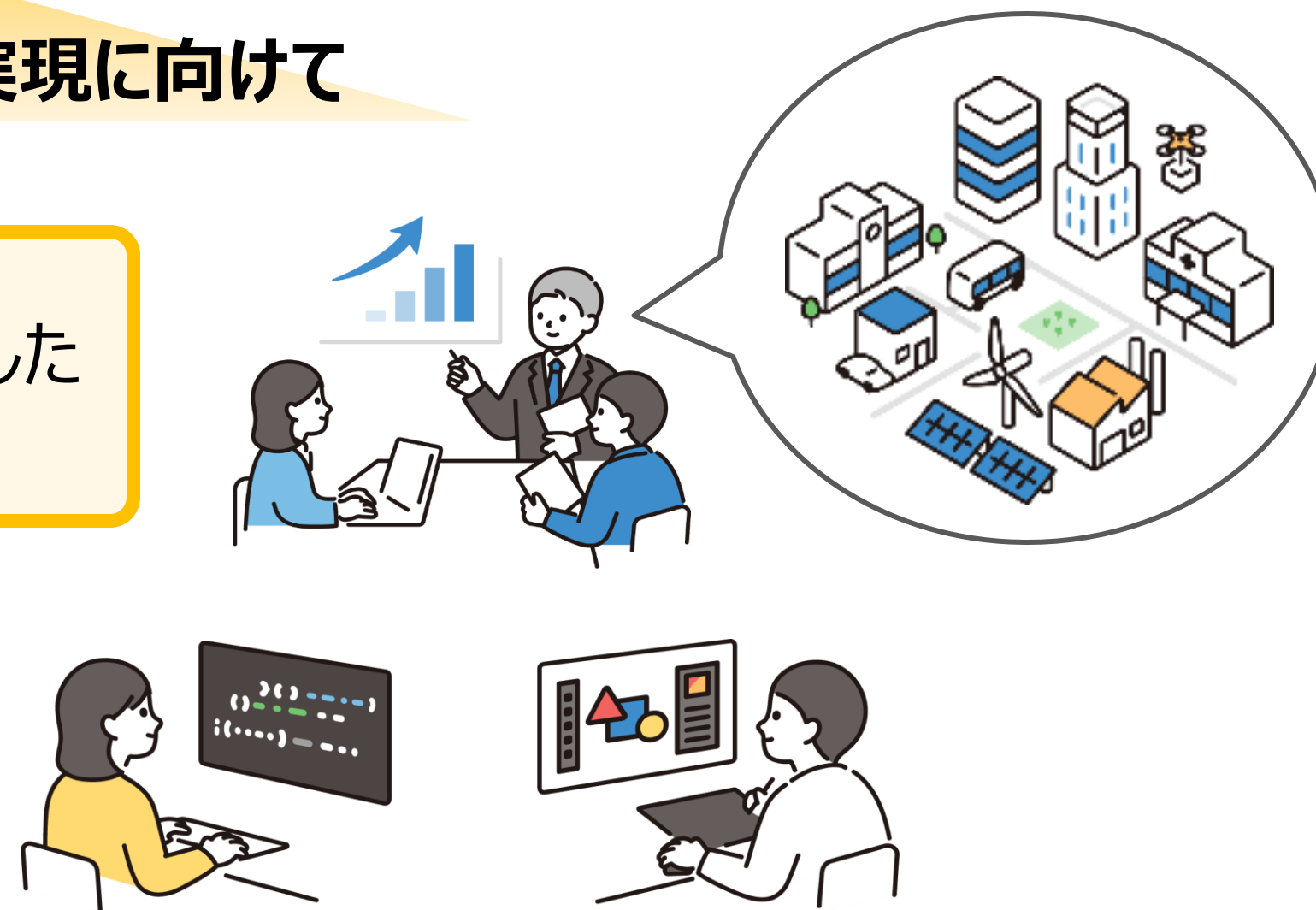
概ね5年後のありたい姿

- ③ デジタルやデータサイエンスに関する知識やスキルを持ち、**地域や産業のDXを実践できる人材**が育成されている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 県内大学等における学生や社会人などを対象としたデジタル人材の育成



4 デジタル社会を支える人材の育成



概ね5年後のありたい姿

- ④ 県・市町村の全職員がデジタルスキルのレベルアップを図りながら、DXを積極的に推進できる組織になっている。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- 県・市町村におけるDXを担う人材の育成・確保

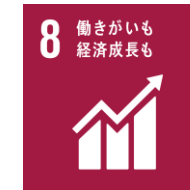


目次へ戻る



一覧へ戻る

5 働き方改革の推進



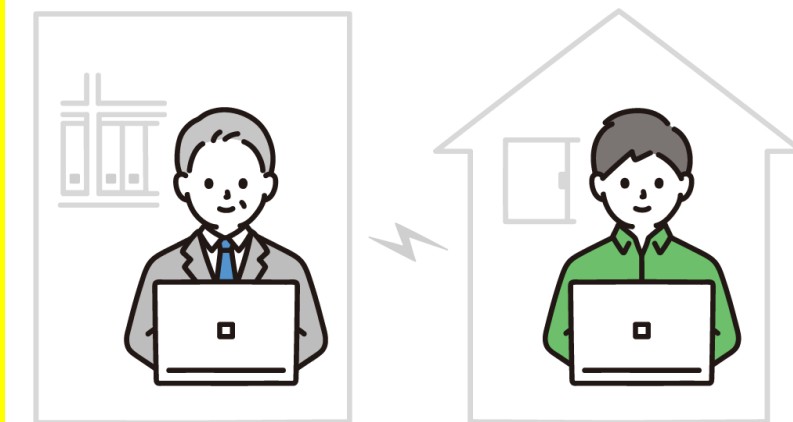
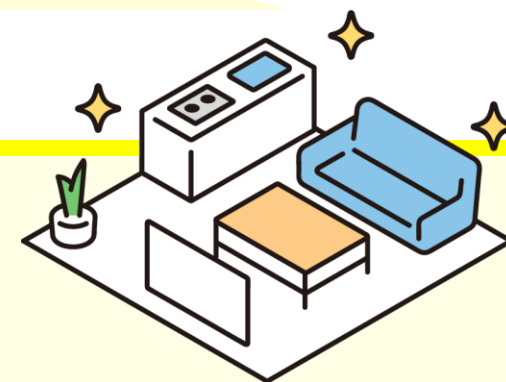
概ね5年後のありたい姿

- ① 柔軟な働き方や業務の効率化・生産性向上により、働きがいのある職場、ゆとりある暮らしが実現している。

ありたい姿の実現に向けて

取組の方向性

- ・県内の事業所等における働き方改革の促進
- ・学校における効率的・効果的な業務の推進、教員の働き方改革の促進（生徒と向き合う時間の拡大）
- ・県・市町村における業務の効率化・生産性向上、職員の働き方改革の促進（県民に向き合う時間の拡大）



7 推進体制

